

平飼い養鶏用敷料の低コスト化に着目した試験を実施

飼料や資材が高騰している中でも、生産性を考慮し、健康に家畜を飼養することは必要です。平飼い養鶏の場合、おが粉は敷料として広く使用されてきましたが、海外からの木材の輸入が滞った影響もあり、安定的な入手が困難になっています。今回、再利用可能なゴムマットの上におが粉を従来の使用量の1/2に減らして敷いた区(A区)、床の半面にゴムマットとおが粉、もう半面におが粉のみを使用したミックス区(B区)及び従来のおが粉のみの区(C区)を設定し、生産性や快適性について検討しました。その結果、試験鶏の73日齢平均体重はA区が3,116g、B区が2,759g、C区が2,976gとなりゴムマット区を用いたA区の実績が高い傾向が見られましたが、他の区より羽毛のダメージが大きく鶏がストレスを受けていると推察されました。今後は、他の資材も検討し、低コストで快適性が高い敷料を探索していきたいと考えています。



定点カメラで行動調査も実施し、現在解析を実施中

畜産センター